

# エコーを駆使、新コンセプトの フィットネス施設と連携のクリニック

## —— 東あおば整形外科（仙台市）

先月号の特集で一部紹介した東あおば整形外科と連携フィットネス施設の Workout IF+、今月はカラーページで両者の概要を紹介する。新しいコンセプトによる整形外科クリニック開業から、スポーツ医学の今後の可能性をみることができる。

仙台駅から仙石線に乗り換え、「小鶴新田」で降りると、目の前に大通りがある。そこを5分も歩けば、左手に「東あおば整形外科」が見えてくる。2012年9月5日にオープンしたばかり。院長は、気仙沼市立病院スポーツ外来で数々のアスリートやスポーツ愛好家の治療にあたってきた高橋周先生。本誌では、過去に超音波画像診断の連載を担当していただき、全国各地で関連のセミナーも精力的に展開されている。「3年前に開業する決意をして、準備を始めました。場所は、当初から現在の地にだいたい決まっていたのですが、東日本大震災があって、当時は気仙沼市立病院に勤務していましたので、そこから離れることができなくなったのと、建築業者が復興のため



東あおば整形外科。JR 仙石線「小鶴新田」から徒歩5分

の仕事優先になりますから、建築自体ができなくなり、予定より1年遅れで、丸3年かけて開業にこぎつけました」（高橋院長）

1階はクリニック、入ったとたん白を基調にしたモダンなインテリアが印象的で、左が診察室、右がリハビリテーション室、そして2階には連携するフィットネス施設「Workout IF+」がある（別経営のため入り口は別）。

「最初からクリニックだけでなく、一緒にやってくれるメディカルフィットネスの会

社を求めています。スポーツ選手もスポーツ愛好家でも、やはりクリニックだけでは十分対応できないことがあります。そういう人たちがいつも元気にスポーツに取り組めるよう、またよりよい生活ができることを目指して、クリニックとメディカルフィットネス施設をセットで考えていました」。こう語る高橋院長、自らこのフィットネス施設の会員となり、昼休みなどにトレーニングを実践、すでに体重が10kg減で、確かに以前より引き締まった顔立ちに



白を基調に黒がアクセントの受付と待合室



診察室にはエコーが常設



リハ室は明るく、各種マシンが設置されている